

島前高校魅力化アップ事業

自治体情報

島根県海士町

人口 / 2,321人

標準財政規模 / 2,357百万円

担当課 財政課

電話番号 直通 08514-2-0114

実施主体 海士町

関連ホームページ <http://www.dozen.ed.jp/>

事業期間 平成22年度から

関係施策分類

予算関連データ

総事業費：328,110千円

名称	所管	金額(千円)
過疎地域等自立活性化推進交付金	総務省	9,224
過疎債	総務省	126,800
一般財源	-	95,587
ふるさと雇用再生事業交付金他	島根県	96,499

施策のポイント

「高校の存続は、島の存続に直結する」という共通認識の中、島内のこどもや保護者、住民の不安の声を受け、島前3町村と県立高校が連携し、全国からも生徒が集まる魅力的な高校づくりを推進している。

施策の概要

1. 取組に至る背景・目的

島根県立隠岐島前高校は、少子化の影響を受け、平成9年からの約10年間で入学者数が77人（H7）から28人（H20）へと減少し、統廃合の危機に直面した。廃校になると、島の子供は外部に流出し、その保護者の金銭的負担は増加するため、人口の流出が避けられず、島の自立への取組が水泡に帰す。そのため、島前3町村と県立高校が連携し、全国からも生徒が集まる魅力的な高校づくりを推進する。

2. 取組の具体的内容

- ・地域づくりを担うリーダー育成を目指す「地域創造コース」、少人数指導で難関大学にも進学できる「特別進学コース」を開始。（H23.4）
- ・学校連携型の公営塾「隠岐国学習センター」を創設。（H22.4）
- ・全国から意欲ある生徒を募集するため、寮費食費の補助等を行う「島留学」制度を新設。（H22.4）

3. 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

- ・県外も含めた入学志願者数の増加、生徒の学力向上など

4. 現在までの実績・成果

- ・生徒が企画した地域活性に向けた観光プラン「ヒトツナギ」が観光甲子園でグランプリ（文部科学大臣賞）を受賞。（H21.8）
- ・平成22年度卒業生の約3割が国公立大学に合格。（H22.3）
- ・平成20年度では28名だった入学志願者数は、平成23年度には関東や関西の県外も含め、44名へ増加。
- ・平成24年度より募集定員の2学級化。（H23.11）

5. 導入・実施にあたり工夫した点や苦労した点とその対処法・解決策など

地域格差や経済格差が生み出す教育格差を打破し、生徒一人ひとりの夢の実現を目指すため、公営塾「隠岐国学習センター」を創設し、高校との連携により学習意欲を高めることに加え、社会人基礎力を鍛える独自のプログラムも展開している。

6. 今後の課題と展開

地域と学校が一体となり、「子育て島」「人づくりの島」として教育のブランド化を図り、子供連れの若いUIターンの定住促進につなげる。また、地域の未来を担う人づくりのモデルを構築し、島で育った若者が将来的に島に戻って活躍する人の循環型地域、そして「地産知生」を目指していく。